週間天気予報解説資料

2026年11月6日10時00分発表
気象庁

予報期間　11月7日から11月13日まで

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

・9日は、高気圧が日本の東へ移動し、日本付近を気圧の谷が進む。
・10日は、低気圧が日本の東を北東に発達しながら進み、大陸の高気圧が日本付近に張り出す。
・11日は、高気圧が東シナ海付近に移動し、13日にかけて東日本や西日本を覆う。
・11日から12日にかけては、日本海が気圧の谷になる。

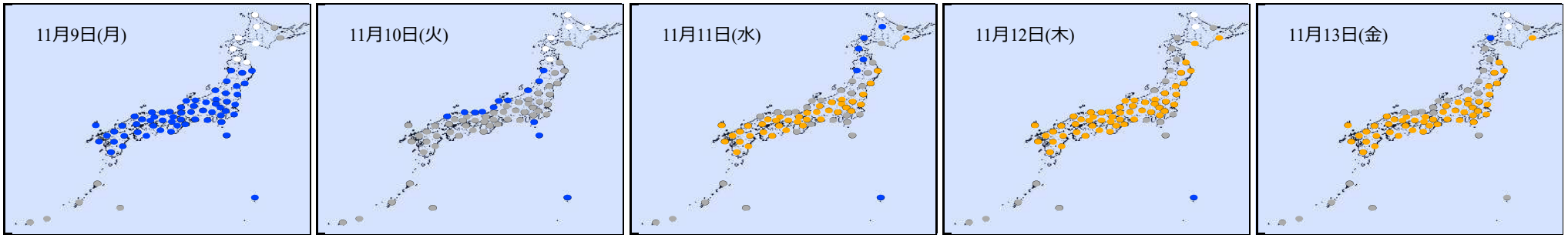
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

・なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

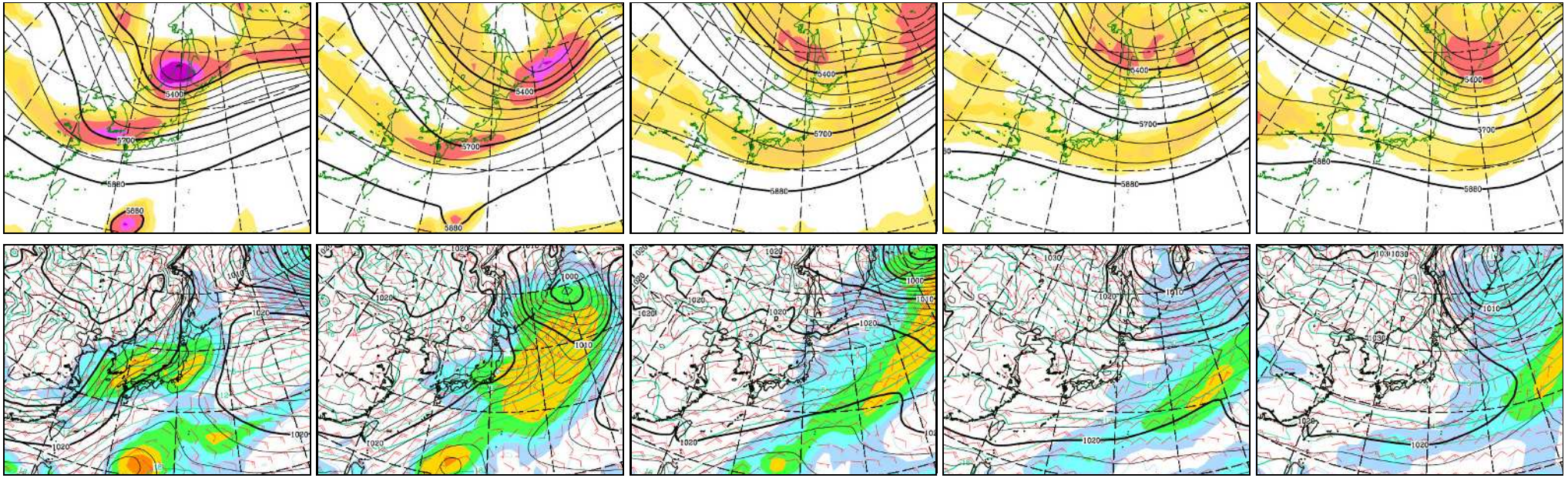
◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)



・北日本と東日本日本海側は、雲が広がりやすく雨または雪の降る所が多いが、11日から13日にかけては晴れる所もある。
・東日本太平洋側と西日本は、9日と10日は曇りや雨の降る所が多いが、11日から13日にかけては晴れる所が多い。
・沖縄・奄美は、雲が広がりやすい。

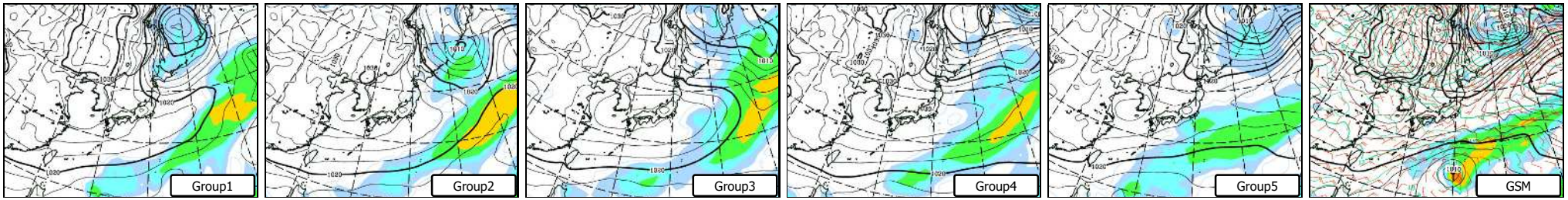
◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)

11月9日(月)　11月10日(火)　11月11日(水)　11月12日(木)　11月13日(金)



渦度(10^{-6}/sec以上)　0　10　20　40　80　100　風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆11月12日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図　海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

・最新のアンサンブル資料（ENS）は、9日から10日にかけて北日本を通過するトラフはやや深くなり、東進が遅くなった。11日から12日にかけて北日本を通過するトラフはやや浅くなった。
・各モデルともに、10日以降のトラフ、リッジの初期値変わりが大きくなっている。10日に北日本を通過するトラフの後続のトラフの東進は、GSMが一番早く、続いてNCEP、ECMの順に遅くなっている。寒気が南下するタイミングにもモデル間の差がある。
・12日の気圧の谷の位置は、GSMは北日本付近、ECMは沿海州付近、NCEPは日本海とモデル間で差がある。ENSは、各モデルに近いメンバーの他に、気圧の谷が千島近海や日本の東に進んでいるメンバーもある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

・予報は、おおむね最新のENSを基に考える。
・11日から13日については、気圧配置の不確実性が大きくなっている。今後、予報が大きく変わる可能性もある。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。